

分校だより

一学期の号

地域と共に歩む
大曲農業高等学校太田分校
(TEL) 0187(88) 1311
(FAX) 0187(86) 9035

【生徒一人一人が自ら考え、行動・実践できる力の育成】

新年度がスタートして間もなく夏休みを迎えようとしています。新型コロナウイルスの感染対策も緩和され、生活様式も徐々に感染前の状況に戻りつつあります。まだ注意しながらの日々が依然として続いています。学校の方でも気を緩めることなく、感染対策には十分に注意を払いながら進めていかねばならないと考えております。

さて、4月5日(水)、新任式で新たに4名の新しい先生をお迎えして令和5年度がスタートしました。これまで「分校だより」を各月の出来事を中心に発行してきましたが、今年度はHPの充実に伴い、HPで掲載されなかった出来事や生徒たちの活躍、校内の様子などを少し違った観点で紹介していきたいと思っております。これまでの行事等については、「情報提供」↓「2023学校行事」と「トピックス」でご覧いただけます。

今年度も全校生徒が確かな成長を目標として頑張っていくことのできるよう、これまで諸先輩が築き上げてきた伝統の上に、止まることのない前進の歩みを積み上げて、地元への期待に応えられるような人材を育成する学校として歩んでいきたいと思っております。

【春の農作業始まる】

今年度は桜の開花も早く、農業コース恒例の畑への堆肥散布は、満開の桜を眺めながら実施となりました。お米作り同様、分校の野菜作りは無農薬、無化学肥料で作る「オーガニック野菜」です。野菜の持つ生命力を最大限に引き出すために、土作り、畑作りは大切な作業です。写真は3年生の農業コースの生徒達が、山盛りに積みまされた粉殻堆肥を一輪車に積み、畑一面に散布している様子です。

【どの部活動へ入ろうか】

新入生がどの部活動へ入ろうか、様々な活動現場を訪れ体験をしました。各部の先輩達が入部してもらおうと必死です。数は少ないですが、魅力ある部活動がある太田分校です。充実した学校生活へ向けての第一歩です。

【野菜苗・草花苗販売】

太田分校の野菜苗と草花苗は、地域の方々から大変人気があります。今年の苗販売は5月10日(水)時から告知していたところ、販売前から並ぶ列。約30人近い地域の方々から苗が売れ、担当の先生方が苗の補充や会計をやって来てくれたようでした。大変ありがたいことです。その後も地域の方々を訪れ、よくよく近づくには落ち着きました。地域の方々からは「分校の苗は安くて丈夫だ」「頑張っているね」という励ましの声をたくさん頂きました。地域の方々のお声は、農場部の先生方や生徒達の励みとなりました。

【郷土芸能部演舞指導始まる】

今年から郷土芸能部の放課後練習に、全校民謡でお世話になっている講師の先生方が演舞の指導で訪れています。毎日ではありませんが、部員にとっては貴重な経験となっています。今年度は、感染対策も緩和された今年は、今まで中止していた施設等への慰問活動やイベント参加の機会も増えることでしょう。上達のために部員一同頑張っています。

【特別栽培米は雑草との戦い】

太田分校では特別栽培米作りに取り組んでいます。特別栽培米とは、無農薬、無化学肥料で作られているお米です。全く農薬を使用せず、与える肥料は認可されている有機肥料を使用します。農薬を使わないことから、この頃から雑草が我が物顔でイネに負けじと生育旺盛となります。田植えが終わると一週間も経たないうちに雑草が見えてきます。生徒たちは手作りの初期除草機「チェーン除草機」なるものを少し見えた雑草を少し見ても取り除こうと手を動かしていました。

【田植え体験学習】

6月1日(木)、太田南小学校5年生、おたわんぱくランドのびのび園の子ども達が田植え体験で太田分校を訪れました。この田植え体験では、3年生の農業コース8名の生徒達が田植えの仕方をお教え、植える手伝いもしました。太田南小学校の5年生は、昨年引き続き、今年も「食と農」について深く考える機会を持ちたいということから田植え体験を実施しました。同じく、のびのび園の子ども達も歓声を上げながら植える体験をしました。この日は天候も良く、明るく賑やかな歓声が分校に響きました。

【全校田植え競技会】

5月26日(金)、全校田植え競技会が行われました。今年はゲストを4年ぶりに迎え、保護者見学も許可して行われました。また、保育園の子ども達も応援に駆けつけ、久しぶりに賑やかで活気のある田植え競技会となりました。生徒達の頑張りももちろんですが、先生方、特に校長先生と教頭先生の張りきり様は、出て立ちからも情熱が伝わってきます。天候にも恵まれ、無事に第16回全校田植え競技会が盛大に行われたことを報告いたします。

【全校除草作業】

6月29日(木)、全校除草作業が行われました。梅雨特有の曇り空の中、時折休憩を交えながら作業を進めました。微かにそよぐ風が心地よいものの湿度も高く、お互いに声をかけ合い、体調に注意を払いながら作業を進めました。

2・3年生は昨年の経験を生かし、手際よく除草してくれました。1年生は出だしこそ慣れない手つきでしたが、先輩方のやり方を見ながら、徐々に手際よく協力して取り組みました。昼近くになると、次第に足と腰にジワジワと負担がかかり、手を休めたり腰を伸ばしたりする回数も増えましたが、生徒・職員とも最後まで頑張りまして、秋にはきっと美味しいお米がたくさん収穫できることでしょう。

【太田分校大運動会】

一学期で生徒たちが最も熱く、エネルギーに躍動する運動会が、6月14日(水)に晴天の太田球場サブグラウンドで行われました。今年度は全校生徒を青組と紅組の2チームに分けて競い合いました。競技はお馴染みの「男子100m走」「女子80m走」の他、「くるくる競走」や「ターゲットを落とせ」といった、聞いただけではどんな競技なのか分からないユニークな競技、また力勝負の「大綱引き」と多彩な競技で競いました。生徒たちは何種目も出場する中、競技役員もこなすなど大忙し。結果はともかく、生徒たちの歓声で包まれ、大いに盛り上がった太田球場のサブグラウンドでした。

【G.L.クラブ花壇作りボランティア活動】

6月7日(水)、グリーンライフクラブ(G.L.クラブ)の部員6名が、太田児童会へ向けて、花壇作りのボランティア活動を行いました。この活動はG.L.クラブで毎年行っている活動の一つで、雑草を取り除いた後に肥料の散布と耕起作業を行い花壇を整えます。花壇に植える花は、生徒たちが春休みからポット移植に取り組み育ててきた花です。準備が整うと児童クラブの子どもたちに、移植の仕方を教えながら花壇へ一緒に植えていきます。児童達も花壇が花いっぱいになって嬉しそうでした。素敵な花壇作り、花いっぱいになった花壇になってほしいですね。

【卒業生講話】

6月30日(金)、卒業生講話と題して、地域で活躍する卒業生を招いて、講話やディスカッション、質疑応答と貴重な時間を過ごしました。講師としてお迎えしたのは、今年の春に卒業した淡路英利さん、永代明日香さん、高山陽奈さん、津嶋杏輔さんです。4名の先輩方からは、卒業して間もなくの戸惑いや、現在に至るまでの経験など幅広いお話を聞くことが出来ました。その講話の中で津嶋杏輔さん(建築関係から信頼される7箇条を教えてくださいました)ので紹介いたします。

- 一、笑顔で明るく
- 二、挨拶は基本、先手必勝
- 三、いつも謙虚で感謝の気持ちを持つ
- 四、謝るときは素直に潔く
- 五、分らないときは聞く
- 六、派手なことはしない
- 七、自慢はしない

「学生のうちに当たり前のことは当たり前に出来るようにしておくこと。信頼関係の築き方、愛され方を知っておくこと。これらの事を心に留めてほしい。」

生徒たちは、働くことへの理解を深めるとともに、社会に出るためにどのような意識や心構えを持って取り組んでいかなければならないかを考える良い機会となりました。

【第105回全国高校野球選手権記念秋田大会】

7月7日(金)から始まった第105回全国高校野球選手権記念秋田大会。太田分校は男鹿海洋高校、西仙北高校の連合チームで試合に臨みました。初戦は9日(日)、さきかけ八橋球場で第一試合、秋田商業高校との対戦でした。朝7時半に学校を出発。球場についてから前日の雨によるグラウンドの改善が難しいこと、天候も不安定ということで翌日に順延となりました。翌日も天候が不安定であることから、本部の判断を待って出発。太田分校の野球部員は3名、一人の助っ人を加えた4名で、連合チームというチーム作りが難しい中、主将を藤原大河君、副主将を戸澤蒼空君の二人が務め、こまめにチームをまとめ引張って来ました。選手達は出場できる喜びを随所に見せながら全力プレーをしてきましたが、お互いに声をかけ合いながら支え合う姿はとても感動しました。お疲れ様でした。

【郷土芸能部グループホーム慰問活動】

7月5日(水)の放課後、郷土芸能部がグループホームおたの夏祭りへ招待され、演舞を披露してきました。今年初めての訪問活動に加え、コロナ禍で4年ぶりの訪問となりました。部員8名は、発表できる嬉しさと緊張の中、これまで練習してきた成果を一杯披露してきました。ようやく校外での発表が出来ることで、一人一人のモチベーションも高まり、更に活躍してくれることでしょう。

【気合い十分ですね】

渡辺校長先生
久米教頭先生

